

(様式—1) 信濃川下流工事施工研究発表会

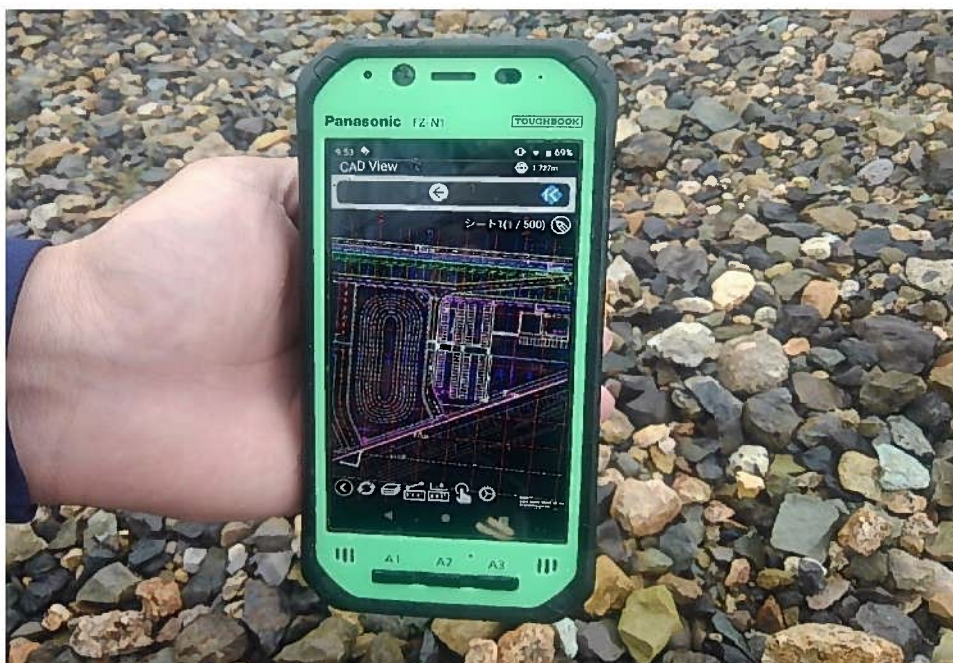
1	表題(課題)名	自動追尾トータルステーションを用いた測量	
2	工事(業務)名	天野河川防災ステーション整備その6工事	
3	受注者名	小柳建設株式会社	
4	工期	令和 4年 9月 1日 ~ 令和 5年10月31日	
5	担当技術者(立場)名	工事主任	(さの こうき) 佐野 巨輝
6	担当主任監督(調査)員	関屋出張所長	
7	課題区分名	③新技術 (_____)	
8	工事(業務)概要	天野河川防災ステーションの根固めブロック製作、排水路工事、舗装工事及び市道改良を行った。	
9	【施工における 課題・問題点 等】		
	<p>本工事は施工範囲が約30,000㎡と広大であり、測量に時間がかかる。 また、現場内で高低差が約7mあり、既知点に器械を据えて測量を行うことが不可能な箇所があった。</p>		
10	【実施内容】		
	<p>本工事では自動追尾トータルステーション(LN-150)を用いて測量を行った。</p>		
			
11	【実施結果】		
	<p>自動追尾トータルステーション(LN-150)は1人での測量が可能であり人員削減に繋がった。 器械点を自由に設定することができるため仮BMの作成が不要となり作業効率が向上した。 スマートフォンの平面図から測点を選択することができ、事前の方射角や距離の計算が必要ないため若手技術者でも容易に測量を行うことができた。</p>		

(様式—2)

【実施内容等】



LN-150を用いた測量



スマートフォンに取り込んだ平面図